

### 常磐文藝

#### 雪降る夜に (二)

星影生

日本海の膨脹した怒濤、  
紅い足を振はせながら叫び  
鳴く鷗の羽に降りしきる厚  
い雪の片々が藍碧の浪の舌  
に吸はれて行く、太陽の光  
線が降り積つた雪に、眩し  
く瞳に沁みるやうに反射す  
る日等には、雪折の響が徹  
透してこぼれますであらう  
北國の冬、それは眞個に  
淋しい、雪白に墨汁を注ぎ  
かけたやうな單調な色彩で  
あらう

あゝ然し岩間々々に挿ま  
つてゐる諧調を聞き落し給  
投稿を歓迎します

#### 募集 文藝其他一般

ふな路傍に瞳を注いで、冬  
の情調を見出す事を忘れ給  
ふな  
淡にがき味ひ、それは明  
るい南の國も、暗い冷たい  
北の國も共通な冬の味ひで  
ある

さらば君よ、我等は華や  
かなオーケストラに合せて  
足どり面白く踊り出さねば  
ならぬ  
此の冬を、孟子孔子の教  
を聞くやうな心持の冬に倦  
怠を催さぬやう………そ  
れは丁度雪空に躍りくる雪  
の片々のやうに  
淋しい遺潮ない冬のいつ  
て了ふまで、さらば………  
裏日本人々へ  
(一九二二)の冬

### 東京 コークス入荷

一俵に付九貫入金一圓七十錢  
市内敏速に配達致します

平町月見町

### 佐藤鐵工所 コークス部

電話 三六二番

### 松島水上養魚場の養殖した

カキ貝の取次店を開始しま  
した極めて廉價に販賣しますから御  
最負の程願ひます

カキフライ一枚廿錢  
カフェー。タヒラ  
平町紺屋町(住吉屋本店前)

### 謹告

不肖四圍の事情己み難く嚴正中立を  
標榜し本郡第四區縣會議員候補者た  
る事を承諾し其旨聲明致候得共窃か  
に省みるに今や國歩艱難の秋も申  
すべき昨局に際し金融機關の實務に  
當る一使用人として地方經濟界の  
爲め挺身努力するより他に遑無きを  
自覺し爰に斷然立候補を取消し此度  
の選舉には全然關係不致事に決心仕  
候間此段謹告仕候也  
十一月十一日

### 草野順平

### 第四區縣會議員 有權者各位

## 讀書家 新刊雜誌回讀

◇時代の潮流に棹さし豊富なる智識を吸収せんとする人は

### 即時御加入あれ……

御希望の新刊雜誌を加入者の御家庭に配達し七日目毎に  
一冊宛を交換し一ヶ月中に五冊を閲覧に供す但冊数を減  
じ交換日を延ばす事を得

方法 一ヶ月金壹圓とす一冊壹圓以上の雜誌或は倍大號等發行  
の月に限り多少追徴する事ある可し又月の中途加入者は  
日割或は冊數割とす

料 金 一ヶ月金壹圓とす一冊壹圓以上の雜誌或は倍大號等發行  
の月に限り多少追徴する事ある可し又月の中途加入者は  
日割或は冊數割とす

申込 一ヶ月金壹圓とす一冊壹圓以上の雜誌或は倍大號等發行  
の月に限り多少追徴する事ある可し又月の中途加入者は  
日割或は冊數割とす

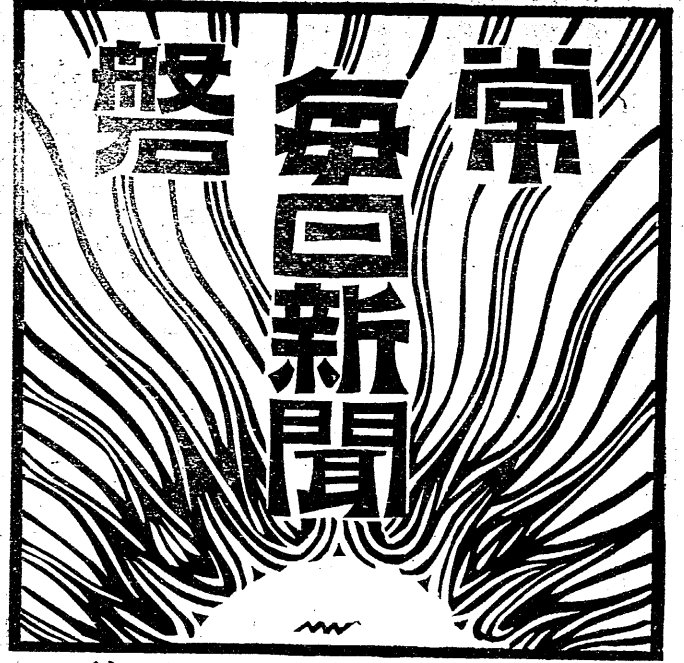
一ヶ月金壹圓とす一冊壹圓以上の雜誌或は倍大號等發行  
の月に限り多少追徴する事ある可し又月の中途加入者は  
日割或は冊數割とす

一ヶ月金壹圓とす一冊壹圓以上の雜誌或は倍大號等發行  
の月に限り多少追徴する事ある可し又月の中途加入者は  
日割或は冊數割とす

### 川崎巡回文庫

平町字長橋町三五  
川崎巡回文庫

福島縣石城郡平町  
字長橋町三五番地  
常磐毎日新聞社



十一月二十日夕刊

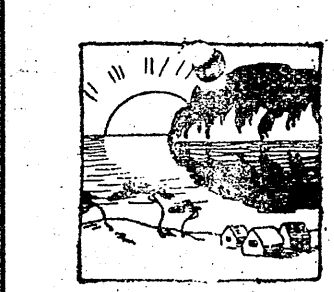
定	一部金貳錢 月極
價	三限リ一ヶ月卅錢
告	五號十三字詰
料	一行五十錢
休	日曜、大祭
刊	祝日ノ翌日
刷	福島縣石城郡平町
所	田町十六番地
行	磐城新聞社
發	川崎文治
行	福島縣石城郡平町
所	字長橋町三五番地
社	常磐毎日新聞社

### 私の見た記者としての川崎君

いはらき記者 宮田三朗

次に尙二つの長所を挙げ  
ねばならぬ、其は見掛に依  
らぬ大膽な行動をする事と  
事件の取扱振りが中々に深  
い注意を拂つて居る點であ  
る、斯くいへば餘りに世  
辭のみを並ぶる如くである  
けれ共事實が最も雄辯に語  
つて居るから左に私の感じ  
た二三の實例を紹介して見  
ようと思ふ

大正七年の二月頃と記憶  
する陸軍飛行隊で第一回所  
澤小名濱間の長距離飛行を  
行た際私は川崎君と共に  
張して東北の空界に初めて  
雄姿を現す飛行機の往來に  
關するあらゆる材料を蒐集  
して一々長文の電報を本社  
に發して居た恰度其時川崎  
君は特別の重要任務に就て  
一々着陸する飛行將校の感  
想談を蒐むる筈であつた處  
に於て其の第一番に着陸  
した某中尉が堅く口を緘し  
て一語も語らぬといふので  
一同ハタと困た、然し其儘  
で已むべきで無い事勿論で  
あるから川崎君を激勵して



(續)

是非共中尉に口を開かせよ  
うと苦心した、同時に私は  
川崎君が奈何なる方法に出  
るかを注意して居ると夕刻  
になつて全く理想通りの結  
果を齎した然も其は次の如  
き苦心と努力の結晶であつ  
た事を知つたのである

### 憲派の窮策運動に

#### 俄然司直の手動く

立候補断念した草野氏の

#### 偽電を各方面に發す

憲派が後援の二字を借りて騒ぎ廻つた中立候補者草野順平氏は既記の如く東京白井遠平翁の招電に依り親友小野晋平、古川傳一の兩縣會議員と共に九日の夜行にて急遽東上した結果白井翁より種々懇諭されて大いに悟る處あり立候補を断念するに至つた爲め小野、古川の兩氏は直ちに歸郷して草野氏の意志を周囲に傳へ一方草野氏より憲派幹部に向つて絶縁狀を書留にて送附すると同時に有権者一同に對して左記立候補断念したる旨の挨拶狀を配附した

謹啓小生儀四圍の事情已み難く嚴正中立を標榜し本郡第四區縣會議員候補たる事を承諾し其旨聲明致候得共密かに省みるに今や「國歩艱難」の秋も申す可き此時局に際し金融機關の實務に當る一使用人としては地方經濟界の爲めに挺身努力する他に違なきを自覺し茲に断然立候補を取消し處度の選舉には全然關係不致事に決心仕候間事情御諒承被下度右取急ぎ得貴意度如斯御座候 敬具

然るに寢耳に水の憲政派は全く其後の處置に窮し内部に紛擾を醸すに至つた爲め此際敵黨佐藤派の運動を妨害して鬱憤を晴さんとす一日各方面に草野氏の名義を亂用して「奮闘を頼む」と

#### 推薦演説

##### 四倉座の盛況

佐藤派推薦演説會は十一日午後六時より四倉座に於て開會、前岡町助役中野拾與氏の開會の辭に次ぎ縣會議員井上茂作氏の「余の政黨

#### 震災の大打撃を受けた

##### 雑誌の新年號を控へ

川崎巡回文庫の活躍

大震災の爲めに雑誌界は大打撃を受け災害以前五百餘種を數へた多數の雑誌は約三分の一に淘汰され今では發行確實のもの僅かに百廿餘種に過ぎないが單行本としては講談社の大正大震災大火災が復興の第一聲を擧げ一躍五十萬部を賣り盡し出版界の爲めに萬丈の氣を吐いたが其後は未だ大物が現れない單行本に比べるに雑誌界は未だ餘程の活氣を保ち震災に慮げられて國民精神の糧として復興雑誌の賣行き非常なものであるが就中娯樂物としては「講

#### 奸商檢舉の鐵槌

##### 伊勢屋の頭上を下る

「こんな災を當込んで……十倍以上の暴利を貪るを檢舉せんと先般來密かに活動中であつたが平町字四

しめ讀書家の福音と傳へられて居る平町川崎巡回文庫にては新年號の發行も目途に迫つたので雑誌界の争覇戦に備ふべく準備に怠りない

#### 好問村民が

##### 名簿申立

##### 郡長の決定書

石城郡好問村役場が昨年九月十五日現在にて調査し、縣會議員選舉に際して多數の脱落……が過般の縣會議員選舉に際し始めて發見され物議の種を播いたが時既に遅く遂に名簿に登載するを得なかつた爲め本年九月十五日に依つて調査せる有権者名簿に就いては村民全部が非常な注意を拂ひ鈴木房吉、吉田亥之松、鈴木金一、永山辰之丞、鈴木久太郎の五名が脱落せりとて佐瀬郡長に登載方の申立を爲した結果審査を遂げて十日郡長より左記の決定を言渡された

#### 大浦品評會

##### 蔬菜と蕪細工

石城郡大浦村にては來る卅日小學校に於て蔬菜及び蕪細工品評會を催す筈だが出品點數は蔬菜三百五十點、蕪細工五百五十點の由因に來年三月十日には堆肥の同廿日には桑園の各品評會を開催する計劃あるといふ

#### 高飛びの

##### 坑夫誘拐捉る

栃木縣都賀郡中川村大字川又生れ坑夫横山勳(三四)は石城郡内鄉村磐城炭礦坑夫組長松本隆好方に雇はれ居たる際同組其他から坑夫五名を誘拐して茨城方面に逃走せしめ本日午前九時十分平驛發上り列車にて高飛せんとしたる處を平驛に見張中の被害者松本其他に取押へられ平驛に突出された

#### 常磐片々

草野順平氏、熱慮一番、立候補を断念  
憲派泡を吹く  
だから云はぬ事ではない、徒らに窮策を弄する事なく他に確實なる候補者を虫眼鏡で探せと  
今となつては時既に遅し  
草野氏に三くだり半を叩き付けられて尙且つ断念せずと詭辯を弄せる憲派の宣傳

は郡民を愚弄するものにして其罪甚だ輕からず  
男らしい處がチツトもない  
專此處に至つては萬事休すだ、屑よく旗を捲け  
御神体のない御輿にお資錢を投ずる者一人もある筈なし  
佐藤庄太郎氏、意氣揚々として恰も無風地帯を行くの觀あり

#### 勸業主任會

##### 米の乾燥其他

石城郡勸業主任會は來る廿二日午前十時より郡衙にて開き米の乾燥及び採種圃の經營等に關して協議する筈

#### 平十三日會

##### 白井判事講演

平町十三日會にては十三日午後七時から平銀行にて開會、平區裁判所判事白井武松氏の講演及び平第一訓導

#### 放牧地視察

##### 鈴木前縣議調停

佐藤本縣山林課長は昨日放牧地問題の中心たる石城郡磐崎村大字藤原字田代地内國有林を實地踏査した爲め前縣會議員鈴木辰三郎氏は横山磐日社長と共に調停の爲め奔走すべく同日午前九

#### 教育事務協議

石城郡第三區教育事務協議會は本日午前十時から平第二小學校にて開かれ來る廿四日縣下校長會議に提出する協議案の件及び他縣教育視察の件を附議した

#### 平町人事

- △出生 齋藤米市郎長男保雄
- △五丁目 山口信次二女榮子
- △死亡 古木榮吉(八三)
- △一丁目 佐藤一造(二六)